

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会議名	令和6年5月 袋井市教育委員会 定例会	
招集日時	令和6年5月29日(水)午後1時30分	
会議時間	午後1時30分から午後3時57分まで（2時間27分）	
場所	教育会館 3階ICT研修室	
出席者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 溝口知秀 委員 吉田陽子 委員 (計：4人)	
欠席者	大谷純應 委員	
傍聴者	無し	
当局出席者	石黒克明 教育部長 小澤一則 教育監 山本 浩 教育企画課長 平野邦孝 未来の教育推進室長 戸塚建司 おいしい給食課課長 荒浪 健 子ども未来課長 戸塚隆雄 育ちの森所長 神田明治 学校教育課長 中村悟史 魅力ある部活動推進室長 大庭尚文 生涯学習課長 小久江暁子 袋井図書館長 白澤 崇 歴史文化館長 長谷川美德 教育企画課参事兼教育総務係長 (計：13人) (合計：17人)	
会議に付した事件	別紙「令和6年5月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」のとおり	

令和6年5月 袋井市教育委員会定例会 日程
会議日程

日程第1 開会

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 会議録の承認

日程第4 教育長報告

日程第5 教育部月例事業報告

日程第6 議事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

協第4号 令和6年度6月一般会計補正予算について

協第5号 袋井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

（2）報告事項

報第59号 令和6年度当初の要保護及び準要保護児童生徒の認定数について

報第60号 令和5年度子ども支援室相談利用者アンケート結果

報第61号 令和5年度子ども早期療育支援センター利用者アンケート結果について

報第62号 令和6年度「未来 Create Club」の実施について

報第63号 令和6年度袋井市中学生広島平和記念式典中学生派遣（第8回）について

報第64号 令和5年度末 市内中学校生徒進路状況について

報第65号 年度初めの特別な支援を要する児童生徒の状況について

報第66号 袋井市不登校児等対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

報第67号 寄附品・寄附金の受納について

報第68号 「まちじゅう図書館」推進システム構築事業委託業務公募型プロポーザルの概要について

報第69号 令和5年度袋井市子ども読書活動推進計画（第4次）の取組状況について

報第70号 特別な支援を必要とする子どもの読書活動推進に係る調査結果について

報第71号 防火管理者の解任又は任命について

日程第7 意見交換

学園経営方針について（周南たちばな学園・南の丘学園）

日程第8 その他

（1）連絡事項

ア 「令和の日本型学校教育」を担う 質の高い教師の確保のための環境整備に関する 総合的な方策について（審議のまとめ）

イ 静岡理工科大学 令和6年度第1回公開講座

（2）次回定例会等の予定について

6月教育委員会定例会

令和6年6月26日（水） 午後1時30分 教育会館3階 ICT研修室

（3）その他

日程第9 閉会

1 開会

●教育長

2 会議録署名委員の指名

●教育長

鈴木委員 と 溝口委員 を指名

3 会議録の承認

●教育長

4月の定例会の会議録については、承認

4 教育長報告

●教育長

資料に基づき、主な内容を報告

5 教育部月例事業報告

●各課長

資料に基づき、各課長から主な事業を報告

6 議事

【議決事項】

●教育長

今回は、議決事項はございません。

【協議事項】

協議事項について、事務局から説明をお願いします。

協第4号 令和6年度6月一般会計補正予算について

●生涯学習課長

資料に基づき説明

●溝口委員

勧農報徳社とはどういうものですか。

●袋井図書館長

後ほど寄附金のところでもご説明しますが、一般社団法人勧農報徳社というところで愛野にある報徳の会社というか組織として、そちらから毎年200万円のお金を寄附していただいているものです。

●教育長

報徳社は土地を持っていてそれを貸し付けたりしてその運用をされているようとして、大変多くの御財産をお持ちのようです。直接学校にも物を寄附していただいたりしています。

[そのほかの質疑・意見（要旨）]

なし

●教育長

原案どおり、承認します。

協第5号 袋井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

●子ども未来課長

資料に基づき説明

●教育長

小規模保育施設の人員配置基準が変わりましたということなんですけども、何が変わったかというと3歳以上の配置基準が変わったということですが、実際には小規模施設で3歳以上を預かっているところは市内にはありません。0～2歳児しか預かっていないのでこれが改正されても影響を受ける施設はないということなんですけれども。国は6年の4月からやりなさいよと言っていますけれども実際に施行されたとしても市内では0～2歳しか預かっていないので0～2歳児の基準は変わっていないということになれば、そこは何ら抵触はしないという形になります。

[質疑・意見（要旨）]

なし

●教育長

原案どおり、承認します。

【報告事項】

報第59号 令和6年度当初の要保護及び準要保護児童生徒の認定数について

●教育企画課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第60号 令和5年度子ども支援室相談利用者アンケート結果

報第61号 令和5年度子ども早期療育支援センター利用者アンケート結果について

●育ちの森所長

資料に基づき説明

●溝口委員

アンケートとしてはよくわかりました。これを受けてですね、ぬっく・はぐくみで今期何か見直さなければいけないことはでてきたのでしょうか。それとも今までのやり方で全く問題がないということでしょうか。

●育ちの森所長

いろいろな意見をいただきて、とにかく職員の意識向上ということで資質面について発達の特性がある子をお預かりする状態になりますので、どうやったらその子にあった接し方が上手にできるかということをしっかり研修を多くして十分つなげている状況でございます。

●吉田委員

溝口委員の意見に付随するような形になりますけれども、昨年度も似たような話をしたかと思いますが、職員の資質向上と研修をという話がありましたが、多分今の職員さん達は子どもに対する理解はすごく深いと思うのですが、保護者に対しての説明、保護者対応についての部分が弱いのかなと。例えばアンケートの中でも、はぐくみの中でもう少し明確な内容のアドバイスが欲しいとか専門的な立場でのとあったようにあくまで保護者が求めているものを上手く提供できていないってことであって、子どもの成長を感じている方が実際いるので子どもの発達に対する資質よりも相談業務的なそちらの資質向上に力を入れていただけたら嬉しいなあと思います。

●育ちの森所長

今後少し声掛けとかはぐくみで保護者対応をやっていますのでそういったところで皆さんのお意見を聴きながらこう言った早期の対応とかをしっかり話をしていきたいと思います。

●教育長

最後に付けている児童発達支援自己評価表はどこかで既設であるものですか。自分達で作ったものなのか。

●育ちの森所長

県の指導要綱がありましてこの事業所に当てられているこの評価を必ず一年に一回は必ず出すことになっておりますのでそれを基にしています。

●教育長

自己評価ということですね。利用者アンケートというのは、ある意味満足度が高い。当

然100%に近い評価に決まっているものという感じだったんですよ。それだったら全然P D C Aは回せないので、自己評価も含めてもっと利用者以外の人からの意見も聴かないと全く改善しなくなってしまうのでもっと多角的に評価をされるようにしないといけない。一番良いのが第三者評価がある。おそらくはぐくみの方は第三者評価があるのですか。

●育ちの森所長

運営委員会があります。

●教育長

運営協議会の意見をちゃんと聴いて、まとめて報告してくれると。保護者だけのアンケートだったら100%そうだよなあというアンケートにしかならないので今度から改めてください。

報第62号 令和6年度「未来 Create Club」の実施について

●学校教育課長

資料に基づき説明

●吉田委員

去年中学生未来会議に参加させてもらって会議で話して終わったのがすごい残念だったので今年度はその後の活動まであるというのはすごくいいなと思います。

●教育長

最初テーマを防災にしようと思っていたのですが、今年能登地震があったので中学生が自分達で考えてもらう良い材料になるのではと思ったのですが。最初能登半島に行けるといいなあと思ったのですがお金がなくて。市長ともお金がなくてなかなか行けないと相談し是非行かなきやだめでしょそれはとなり、学校教育課が予算をあちこちと調整し宿泊費など出していただけることになりましたして結果行けることになりました。それから、この前別の会議で国際交流協会の上原会長と隣の席になって、こういうことをやるんですよとお話をしたのですが、それは良いですねと。外国人の方々がなかなか防災の知識ってないので中学生が外国人に伝えてくれると嬉しいなと、率先してやってくれないかなあという話がありました。通訳の話とか一切無視してというようなことを言っていましたのでそれも一つ良いのかなあと思ってまして。子どもたちの話なら余計に聴いてくれるのかなあと。少し題材としてそういうのを出していただいたのであー良い話ですねと思いました。是非参考にしていただければと。

報第63号 令和6年度袋井市中学生広島平和記念式典中学生派遣（第8回）について

●学校教育課長

資料に基づき説明

●教育長

8月15日の袋井市戦没者戦災死者追悼平和祈願式典に教育委員の皆さんも出ていただけるのかなあ。是非御参加を。

●鈴木委員

出たことはないかと。

●教育長

私も呼ばれなかったけれども勝手に行っちゃったことがあって。中学生の発表をどうしても見たくて。すごい立派なんですよ。この式典の中で中学生の発表が一番良い内容だと思うくらいに。毎年良いです。他にも大人がやることもいっぱいあるのですが、それよりも最後のやる中学生の発表が市民の方もすごい良かったねと言ってくれるくらいなので、8月15日毎年メロープラザでやっているので観ていただけると良いと思います。

報第64号 令和5年度末 市内中学校生徒進路状況について

●学校教育課長

資料に基づき説明

●吉田委員

これってケースが被っている場合もあるんですよね。不登校の状況のところと。

●学校教育課長

あります。

●吉田委員

どことも繋がっていないまんまの引きこもりの子はいないということで良いですかね。不登校生徒の状況の②に引きこもりの子がいるんですがそれはこっちの知的の特別支援学級の②のこの子になるのですか。どことも繋がっていない子がいるのがすごく不安なのがあります。

●学校教育課長

基本的にはどことも繋がっていないという子はいません。この知的の②のお子さんはこちらでいうと9番となります、祖父の自営業を手伝いたいということで、実際にはなかなか家から出られない子なので難しいのですが、この子についても昨年度から始めた家庭支援員さんが実はずっと関わっていて3月で中学を卒業するので、社協さん、それからぬつくの方に繋いでいくことになりました。現在は社協さんに繋がって4月の段階は家庭支援員が一緒に同行して引き続き実施しましたが、5月からは社協さんが定期的に通うということで支援に繋いでいるという状況です。その他、ひまわりに通っている子もおりますのでそういったところを含めると何かしら繋がっていて、そのままということにはなっていないと。進路先が決定しておらず、「希望」というところで終わっている子もいて、実際4月以降本当に受けているかどうかは不明です。

●吉田委員

継続的なフォローは必要かなと思います。

●学校教育課長

ひまわりに通っていたお子さん達は引き続きその後どうなったかということもできる範囲で追いかけていこうと思っています。

●教育長

そもそもとこれを把握するのは、特に不登校の子達が進学の選択肢が狭まってしまうということが当然あり得るのでそこをちゃんと自立した道が選べたのかその選択ができたのかというところを確認する必要があるのかと思って、各学校にもお願いをして不登校生徒の進路先の状況を把握しましょうということです。卒業しても他のステージへ行ってしまうと私共でいろいろと支援しようとしてもなかなかできないことがある、さっき言ったようにどこか繋がる努力が必要をするであるとか、こういう状況を見てそれではどういう指導なり、例えば高校とどういう連絡を取り合うかっていうことも必要になってくるかと思うので、そういうところの参考になればということで把握をすることで始めました。またお気づきの点があればまた言っていただいてと思います。

報第65号 年度初めの特別な支援を要する児童生徒の状況について

●学校教育課長

資料に基づき説明

●吉田委員

中学校の知的学級の在籍数が令和5年度から6年度にがっと上がっているというのは支援学校を選ばずに地域の知的支援級に行く子が増えたということなんですか。多分知的の子達はそんなに数は増減していないと思うのですが。

●学校教育課長

中学校の支援学級相当の子が増えたっていうことではないかと。支援学校に行かないからというわけではないのかと。相対的に言えば小学校の知的も情緒も子どもの数は学級数も年々増えてきております。それが中学校に上がって増えてきているということかなあと思います。

●教育長

なかなか推測で確定的なことは言えませんけど、知的の子の出現率はそれほど変わるものではないと思います。障害的なものについても。そうすると進路の選択をどうするかという話になると思うんです。これからおそらく特別支援学校ではなくて通常学校への要望が多分増えていくだろうなと。これが確かにそれが表れているかどうかは別にしても、多分その流れは間違いないので、特別支援学級も増えるし、おそらく通常学級にもそのまま入れさせてくれという子ども達、保護者さんが増えてくるかもしれない、そういうこ

とを将来見込んでというのもおかしいかもしれないけれども、そうしていかないといけないかなあと。就学支援の制度そのものは皆さんで協議しても最終的には親の同意みたいなので親御さんの御意向という相当強いとは思いながらも、やはり受け皿というところができるないとその子の学びがどの程度実現できるかという話になってしまうので、こういう方向性はおそらくもっとこれからになっていく。ですからインクルーシブ教育をどうやって行くかというところを私達がある意味態勢を整えていかないといふことかと思います。特別支援学校の定員が満杯なんですよ。いつかまた見に行っていただこうと計画を立てていますが、袋井支援学校を見に行っていただいて、子ども達が多すぎて相当たくさんいらっしゃる。実際の学校の収容能力よりもっと増えていて受け入れざるを得ない状況。そういった意味で言うとそういう方たちが増えているというよりは、制度とか知識が皆さんわかってきている、最適なところということで特別支援学校がいつ増えましたけれどもこれからは通常学校がもっと増えてくる。

報第66号 袋井市不登校児等対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

●学校教育課長

資料に基づき説明

●教育長

これ教育行政関係者や福祉行政関係者とかありますが、委員の区分は何か要綱とかで決まっているのですか。

●学校教育課長

また確認します。

報第67号 寄附品・寄附金の受納について

●袋井図書館長

資料に基づき説明

●学校教育課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第68号 「まちじゅう図書館」推進システム構築事業委託業務公募型プロポーザルの概要について

●袋井図書館長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第69号 令和5年度袋井市子ども読書活動推進計画（第4次）の取組状況について

●袋井図書館長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第70号 特別な支援を必要とする子どもの読書活動推進に係る調査結果について

●吉田委員

学校に対して調査を依頼する際の質問がすごいぎっくりし過ぎているから、学校の先生たちが答えにくいのではないかなど、やはり先ほどおっしゃったように欲しい情報が得られていないのではないかなどと感じて、視覚障害等と言われちゃうとそればっかり思い描いてしまうので、学習障害があるでもいいし、外国人籍で平仮名しか読めない子がいるとかもうちょっと細かく聞かないと欲しい情報は得られないのではないかなどと思いました。

●教育長

こんな半分しかいないわけないと全部の学校にいると思うので、これからやる時に参考にします。できれば図書館司書が週に一回行ってくれるので個別の情報をもらってこられるといいなと感じがするんですが。あの子こういう状態だよとかがあつて、そのプライバシーがどうかとあるにしてもじやあこんな本で試してみようかということがトライアルでもできるといいなあと。是非そんなことを続けていきたいなと思います。

●鈴木委員

これ見させていただいて視覚障害の子がこんなにいるのかなあと。視覚障害の捉え方もやっぱり様々でデイジー図書を利用する人は本当に絵も見えない。デイジー図書は絵も説明を入れていかなきやいけないので、ちょっと捉え方がやっぱり様々だろうなあと。

●袋井図書館長

などを学習障害までを視覚障害に入ってくれる先生と本当に視覚障害だけの先生といらっしゃるかなと思いました、このような半分という結果になってしまったもので。そちらは私共の設問の仕方が悪かったかなあと思ってはいます。個別の対応という風になってくると思いますので毎週職員が行っておりますので先生の方とそういう調査をしながらその子に届くようにしていきたいと思っています。昨年度万里子先生から浅中の弱視の生徒さんに大活字本をとお話をいただき、その後貸し出しをして卒業するときに行っている職員にこういった本を読むことによって本を読む楽しさを知って卒業できたことが本当によかったと言って、先生から言っていただけたものですから、やはり個別の対応をしていかざる

を得ないのかなあと、一律ではないなあと、このアンケートを通じてもわかりましたので続けていきたいとは思います。

●鈴木委員

デイジ一図書も市立図書館で扱っているのが子ども向けはやっていないんですよね。そこで本当に子ども向けが欲しいのかどうなかつていうところも実態としてちゃんとそこがあると良い。そこを作ろうと。

●袋井図書館長

どちらかというとCDで聴くよりもネットからダウンロードした方が良いと思うので個人でサピエに登録してそこから情報を得て自分で聴くというその仕組みを先生にお伝えして子どもたちに伝えていくということが一番良いかなあと思っています。

●教育長

アンケートを適切に取るという事と、先ほどからの個別に状況が違うので個々の状況に合わせた読書環境が整うようお願いします。

報第71号 防火管理者の解任又は任命について

[質疑・意見（要旨）]

なし

●教育監

すみません。先ほど言い忘れたことがあったので。はぐくみ、育ちの森のさつき吉田委員の御指摘がありましたその職員の話があったのですが、去年自分もそこに居たものですからそれを受け去年の内に職員の育成ビジョンというのを作成して、その中で一般的は相談業務の受け方っていうものを年間の中に入れて4月の時にそういたものの研修を受けていることがあります。すぐにこうばーっと上がるということはなかなか難しいけれども研修体制を作つてやっておりますので補足をさせてください。

●吉田委員

わかりました。

7 意見交換

学園経営方針について（周南たちばな学園・南の丘学園）

8 その他

（1）連絡事項

- ア 「令和の日本型学校教育」を担う 質の高い教師の確保のための環境整備
に関する 総合的な方策について（審議のまとめ）
- イ 静岡理工科大学 令和6年度第1回公開講座

(2) 次回定例会等の予定について

6月教育委員会定例会

令和6年6月26日（水） 午後1時30分 教育会館3階 I C T 研修室

(3) その他

8 閉会

(午後3時57分閉会)